

目 的

各二次保健医療圏における地域医療構想調整会議に在宅療養ワーキングを設置し、在宅療養に関する地域の現状・課題や、今後の取組（広域的に取り組むべき事項等）についての意見交換を行う

構成メンバー

区市町村、在宅医、病院、地区医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、ケアマネ、医療保険者 など

意見交換の内容

- 在宅療養・退院支援に関する地域の現状・課題について
- 地域、病院の在宅療養・退院支援に関する取組についての相互理解

開催時期

平成29年 9月から11月頃

調整会議と在宅療養ワーキングの関係

- 地域医療構想調整会議は、在宅療養のみならず、地域（構想区域）ごとに、医療等における現状・課題について、幅広い意見交換が主になる。
- 本ワーキングでは、地域医療構想調整会議での議論も踏まえ、地域の在宅療養に関するデータ等を基に、現状・課題などを具体的に整理するとともに、広域的な連携が必要な事項等について検討。ワーキングでの検討状況については、地域医療構想調整会議へフィードバックさせる。

※平成27年度から実施している自治体職員間による「二次保健医療圏における意見交換会」については、在宅療養ワーキング開催に合わせて、継続して実施（在宅療養ワーキングの前に開催を検討）。